

財政金融委員会

委員一覧 (25名)

委員長	中西 健治 (自民)	林 芳正 (自民)	古賀 之士 (民主)
理事	長峯 誠 (自民)	藤末 健三 (自民)	熊野 正士 (公明)
理事	羽生田 俊 (自民)	古川 俊治 (自民)	杉 久武 (公明)
理事	三木 亨 (自民)	松川 るい (自民)	中山 恭子 (維希)
理事	風間 直樹 (立憲)	宮沢 洋一 (自民)	小池 晃 (共産)
理事	藤巻 健史 (維希)	山本 順三 (自民)	大門 実紀史 (共産)
	小川 克巳 (自民)	渡辺美知太郎 (自民)	渡辺 喜美 (無)
	大家 敏志 (自民)	長浜 博行 (立憲)	
	西田 昌司 (自民)	大塚 耕平 (民主)	(31.3.7 現在)

(1) 審議概観

第198回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出5件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願23種類359件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

所得税法等の一部を改正する法律案は、消費税率の引上げに伴う対応、デフレ脱却と経済再生の実現、国際的な租税回避への効果的な対応等の観点から、国税に関し、所要の改正を一体として行おうとするものである。

委員会においては、安倍内閣総理大臣に対する質疑を行うとともに、消費税率引上げに伴う需要平準化策の効果、事業承継を円滑に進めるための税制の在り方、金融所得への課税を強化することの是非、研究開発税制を見直す必要性、電子申告の利用率を向上させるための政府の取組等について質疑が行われ、多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

関税定率法及び関税暫定措置法の一部

を改正する法律案は、最近における内外の経済情勢等に対応するため、関税率等について所要の改正を行おうとするものである。

委員会においては、暫定税率の期間設定の妥当性、関税率等の見直しの在り方等について質疑が行われ、全会一致をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

国際通貨基金及び国際復興開発銀行への加盟に伴う措置に関する法律の一部を改正する法律案は、国際復興開発銀行の増資に伴い、日本が同銀行に対して追加出資を行い得るよう、所要の措置を講じようとするものである。

委員会においては、国際復興開発銀行への出資の意義、国際復興開発銀行の改革の課題等について質疑が行われ、全会一致をもって原案どおり可決された。

金融機能の早期健全化のための緊急措置に関する法律の一部を改正する法律案は、預金保険機構の金融機能早期健全化勘定に属する剰余金を活用するため、金融機能早期健全化業務の終了の日前にお

ける国庫納付について定めるとともに、金融機能早期健全化勘定から金融再生勘定への繰入れをすることができることとするものである。

委員会においては、平成金融危機への対応策の効果と教訓、剰余金の算定根拠とその妥当性、剰余金を金融再生勘定へ繰入れ可能とする理由等について質疑が行われ、多数をもって原案どおり可決された。

情報通信技術の進展に伴う金融取引の多様化に対応するための資金決済に関する法律等の一部を改正する法律案は、近年の情報通信技術の進展に伴う金融取引の多様化に対応し、金融の機能に対する信頼の向上及び利用者保護等を図るため、暗号資産交換業及び暗号資産を用いた新たな取引に関する制度の整備、金融機関の業務に、顧客に関する情報をその同意を得て第三者に提供する業務等を追加すること等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、暗号資産を用いた取引に対する規制の在り方、暗号資産に関する問題事案の発生防止策、金融機関による顧客情報の提供業務の課題等について質疑が行われ、多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査等〕

3月7日、財政政策等の基本施策及び金融行政に関する件について麻生国務大臣から所信を聴取した。

3月12日、前記所信聴取に対し、我が国が議長国となるG20に向けた財務大臣の決意、イノベーション推進のため政府が基金を設置して大学及び研究機関等を支援する必要性、足下の景気判断に関する

財務大臣の認識、軽減税率の低所得者対策としての政策効果、我が国における国際文化交流のための大規模な祭典の実施に向けた政府の取組状況、物価上昇率2%目標が達成できない理由及び正常化に向けた市場との対話の必要性、1990年代以降の我が国経済が低成長となった理由等について質疑を行った。

3月20日、予算委員会から委嘱された内閣府所管（金融庁）、財務省所管、株式会社日本政策金融公庫及び株式会社国際協力銀行の予算の審査を行い、人口構成の変化に伴う社会保障費の増大への対応策、消費税率引上げに伴う需要変動の平準化対策の在り方、業務量の増加を踏まえた国税庁や税関等の人員充足の必要性、租税の徴収額不足の解消に向けた財務省の取組、金融所得課税の強化に対する財務大臣の見解、損害保険の代理店委託契約の実態、皇位継承に伴う相続税課税の在り方等について質疑を行った。

5月9日、日本銀行法第54条第1項の規定に基づく通貨及び金融の調節に関する報告書（平成29年12月8日提出）について、黒田日本銀行総裁から説明を聴取した後、国債発行が民間部門の資産形成を通じて生む経済効果に対する日銀総裁の見解、円の信認を形成する要素に対する日銀の見解、米国の金融政策の調整が日銀の金融政策に与える影響、資産価格のプレミアムへの働きかけが意味する内容、マネタリーベース対GDP比の上限に係る日銀総裁の過去の答弁との整合性、人口減少・少子高齢化が進む地方における金融機関の経営課題、日銀による国債の大量購入が財政規律等に及ぼす影響、MMT（現代貨幣理論）に対する日銀総裁の認識、イールドカーブ・コントロールが金融引締め効果を生じさせた可能性

等について質疑を行った。

5月14日、消費税率引上げを判断する際の経済状況に係る財務大臣の見解、我が国の金融機関が保有するローン担保証券の現状に関する金融庁の認識、企業による従業員の食事補助制度に対する税制措置を拡充する必要性、金融庁における認知症施策の取組状況、暗号資産の取引実態に合わせて税制を見直す必要性、消費税率引上げに伴う価格設定の柔軟化による中小事業者への影響、消費税率引上げにより物価安定目標の達成が妨げられる可能性等について質疑を行った。

5月23日、景気の現状を踏まえて財政出動を行う必要性、日銀の金融政策が地域銀行の財務に及ぼす影響、信用保証協会の役員選定プロセスに対する国の監督の在り方、イノベーションをもたらす研究開発事業に対する予算増額の必要性、出口戦略に際しての日銀の財務健全性確保に関する見通し、日銀の国債補完供給制度を利用した国債の空売りに対する規制強化の必要性、所有者不明不動産問題

の解決策としてのブロックチェーン技術の応用等について質疑を行った。

6月18日、金融審議会市場ワーキング・グループ報告書等に関する件について、政府参考人から説明を聴取した後、市場ワーキング・グループにおける議論を更に深化させる必要性、公的年金の重要性について若年層への普及啓発策、世界経済の下方リスク等を踏まえた金融緩和策の必要性、老後資金の不足額の各種試算についての金融担当大臣の見解、公的年金における財政検証の公表時期の見通し、老後の資産形成に係る税制の在り方、金融リテラシー向上のための教育を推進する必要性、日銀の金融緩和政策による年金積立金の運用への影響、日銀が出口戦略のシミュレーションを早期に示す必要性、市場ワーキング・グループ報告書の記述を不適切と判断した理由、年金が100年安心との考え方が年金制度への国民の不安を招来する可能性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成31年3月7日(木) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 財政及び金融等に関する調査を行うことを決定した。
- 財政政策等の基本施策及び金融行政に関する件について麻生国務大臣から所信を聴いた。

○平成31年3月12日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 財政政策等の基本施策及び金融行政に関する件について麻生国務大臣、滝波経済産業大臣政務官、白須賀文部科学大臣政務官、政府参考人及び参考人日本銀行副総裁雨宮正佳君に対し質疑を行った。

[質疑者]

松川るい君(自民)、風間直樹君(立憲)、大塚耕平君(民主)、杉久武君(公明)、中山恭子君(維希)、大門実紀史君(共産)、渡辺喜美君(無)

- 所得税法等の一部を改正する法律案(閣法第3号)(衆議院送付)について麻生財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成31年3月14日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 所得税法等の一部を改正する法律案(閣法第3号)(衆議院送付)について麻生国務大臣、鈴木財務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

藤末健三君（自民）、杉久武君（公明）、長浜博行君（立憲）、古賀之士君（民主）、藤巻健史君（維希）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

○平成31年3月19日（火）（第4回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 所得税法等の一部を改正する法律案（閣法第3号）（衆議院送付）について麻生国務大臣、田中内閣府副大臣、佐藤外務副大臣、鈴木財務副大臣、鈴木防衛大臣政務官、田中国土交通大臣政務官、政府参考人及び参考人株式会社日本政策金融公庫代表取締役総裁田中一穂君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

西田昌司君（自民）、風間直樹君（立憲）、古賀之士君（民主）、中山恭子君（維希）、竹谷とし子君（公明）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

○平成31年3月20日（水）（第5回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成三十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成三十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成三十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）
（内閣府所管（金融庁）、財務省所管、株式会社日本政策金融公庫及び株式会社国際協力銀行）について麻生国務大臣から説明を聴いた後、同大臣、鈴木財務副大臣、政府参考人及び参考人日本銀行副総裁若田部昌澄君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

古川俊治君（自民）、長浜博行君（立憲）、大塚耕平君（民主）、杉久武君（公明）、藤巻健史君（維希）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

本委員会における委嘱審査は終了した。

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 所得税法等の一部を改正する法律案（閣法第3号）（衆議院送付）について安倍内閣総理

大臣、麻生国務大臣、鈴木財務副大臣、辻外務大臣政務官、鈴木防衛大臣政務官、政府参考人及び参考人日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行い、質疑を終局した。

・質疑

〔質疑者〕

風間直樹君（立憲）、古賀之士君（民主）、藤巻健史君（維希）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

・内閣総理大臣に対する質疑

〔質疑者〕

風間直樹君（立憲）、大塚耕平君（民主）、藤巻健史君（維希）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

○平成31年3月27日（水）（第6回）

- 所得税法等の一部を改正する法律案（閣法第3号）（衆議院送付）について討論の後、可決した。

（閣法第3号）

賛成会派 自民、公明、無（渡辺喜美君）

反対会派 立憲、民主、維希、共産

なお、附帯決議を行った。

- 関税定率法及び関税暫定措置法の一部を改正する法律案（閣法第9号）（衆議院送付）について麻生財務大臣から趣旨説明を聴いた。
- 国際通貨基金及び国際復興開発銀行への加盟に伴う措置に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第10号）（衆議院送付）について麻生財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成31年3月28日（木）（第7回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 関税定率法及び関税暫定措置法の一部を改正する法律案（閣法第9号）（衆議院送付）について麻生財務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

風間直樹君（立憲）、古賀之士君（民主）、藤巻健史君（維希）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

（閣法第9号）

賛成会派 自民、立憲、民主、公明、維希、共産、無（渡辺喜美君）

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 国際通貨基金及び国際復興開発銀行への加盟に伴う措置に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第10号）（衆議院送付）について麻生財務大臣、政府参考人及び参考人日本銀行理事内田眞一君に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

長浜博行君（立憲）、大塚耕平君（民主）、中山恭子君（維希）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

（閣法第10号）

賛成会派 自民、立憲、民主、公明、維希、共産、無（渡辺喜美君）

反対会派 なし

○令和元年5月9日（木）（第8回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 日本銀行法第54条第1項の規定に基づく通貨及び金融の調節に関する報告書に関する件について参考人日本銀行総裁黒田東彦君から説明を聴いた後、鈴木財務副大臣、参考人日本銀行総裁黒田東彦君、同銀行理事前田栄治君、同銀行理事衛藤公洋君、同銀行理事吉岡伸泰君及び同銀行理事池田唯一君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

西田昌司君（自民）、風間直樹君（立憲）、大塚耕平君（民主）、熊野正士君（公明）、藤巻健史君（維希）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

○令和元年5月14日（火）（第9回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 消費税率引上げの判断に関する件、金融機関のローン担保証券保有に関する件、企業の食事補助制度に対する税制措置に関する件、金融分野における認知症施策推進に関する件、暗号資産に係る課税関係に関する件、消費税率引上げに伴う価格設定に関する件、消費税

率引上げの金融政策に与える影響に関する件等について麻生国務大臣、政府参考人、参考人日本銀行総裁黒田東彦君及び同銀行理事前田栄治君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

愛知治郎君（自民）、風間直樹君（立憲）、古賀之士君（民主）、熊野正士君（公明）、藤巻健史君（維希）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

- 金融機能の早期健全化のための緊急措置に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第16号）（衆議院送付）について麻生内閣府特命担当大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和元年5月16日（木）（第10回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 金融機能の早期健全化のための緊急措置に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第16号）（衆議院送付）について麻生国務大臣、鈴木財務副大臣、うへの財務副大臣、伊佐財務大臣政務官、宮島財務大臣政務官、濱村農林水産大臣政務官、政府参考人及び参考人日本銀行副総裁若田部昌澄君に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

松川るい君（自民）、風間直樹君（立憲）、大塚耕平君（民主）、熊野正士君（公明）、藤巻健史君（維希）、渡辺喜美君（無）、大門実紀史君（共産）

（閣法第16号）

賛成会派 自民、立憲、公明、無（渡辺喜美君）

反対会派 民主、維希、共産

○令和元年5月23日（木）（第11回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 景気の現状認識と財政出動の必要性に関する件、金融緩和と政策の金融機関経営に与える影響に関する件、信用保証協会の業務運営に関する件、医工連携事業化推進事業に関する件、

日本銀行の財務の健全性に関する件、国債補充供給制度の要件緩和に関する件、所有者不明不動産問題に関する件等について麻生国務大臣、鈴木財務副大臣、政府参考人、参考人日本銀行副総裁雨宮正佳君、同銀行副総裁若田部昌澄君及び同銀行理事前田栄治君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

西田昌司君（自民）、藤田幸久君（立憲）、古賀之士君（民主）、熊野正士君（公明）、藤巻健史君（維希）、大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（無）

- 情報通信技術の進展に伴う金融取引の多様化に対応するための資金決済に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第49号）（衆議院送付）について麻生内閣府特命担当大臣から趣旨説明を聞いた。

○令和元年5月30日（木）（第12回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 情報通信技術の進展に伴う金融取引の多様化に対応するための資金決済に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第49号）（衆議院送付）について麻生国務大臣、鈴木財務副大臣、田中内閣府副大臣、長尾内閣府大臣政務官、政府参考人及び参考人日本銀行副総裁雨宮正佳君に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

藤末健三君（自民）、風間直樹君（立憲）、大塚耕平君（民主）、熊野正士君（公明）、藤巻健史君（維希）、大門実紀史君（共産）

（閣法第49号）

賛成会派 自民、立憲、民主、公明、維希、無（渡辺喜美君）

反対会派 共産

なお、附帯決議を行った。

○令和元年6月18日（火）（第13回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 金融審議会市場ワーキング・グループ報告書等に関する件について政府参考人から説明を

聞いた後、麻生国務大臣、上野厚生労働大臣政務官、政府参考人及び参考人日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

藤末健三君（自民）、熊野正士君（公明）、渡辺喜美君（無）、蓮舫君（立憲）、古賀之士君（民主）、藤巻健史君（維希）、小池晃君（共産）

○令和元年6月26日（水）（第14回）

- 請願第18号外358件を審査した。
- 財政及び金融等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。